



ミズトンボ (ラン科)

ラン科の掲載が続きましたが、今回は先月のサギソウと同属のミズトンボです。昆虫のトンボが好む水湿地に多く自生していること、花がトンボに似ていることから「水トンボ」の名になったようです。

芝谷地では九月の初めごろから目立ちます。花の唇弁が大きいこと、緑色のがく、それに先がブクツとふくれたかわいい距が特徴です。

芝谷地では湿原の貴重植物が少なくなってきましたが、そんな中、このミズトンボはなんとか現状を維持しています。

文・菅原キサ 写真・山田政一

編集後記

□「もう幾つ寝るとお正月」一年間というのは早いものです。私たち広報マンは、現在、来月号の編集に追われています。そのためか、頭の中は既に新年を迎えています。それでも、おとそを飲める状況にはありません。ゆっくり酒を飲めるのはいつのことやら。本当は毎日飲んでいいのですが…。(ま)

□今年最後の広報。今年上昇気流欄に投書があった中で一番多かったのが、南バイパス釣りランプ付近のコンクリート塊についてでした。これについては皆さんの声が生き、暫定的ですが今月初めに改善されました。広報は市のお知らせばかりでなく、皆さんの声を大切にしていきたいと考えています。これからいろいろな情報をお知らせください。(咲)

□スキーに行きたいっ！運動不足気味の私ながら、スキーだけは一般のかたより熱心に行っているスポーツと自負しているのですが、今年は諸般の事情(サイフか?)から、その回数がグッと少なくなりそう。かくなるうえは、忘新年会の「お座スキー」で体がナマるようなことのないように気をつけなければ。(オヤジギャグですみません・ゆ)

☎ 広報おおだて 平成8年12月16日号(No667)

発行/大館市 〒017秋田県大館市字中城20番地

☎ 0186-49-3111

編集/総務部総務課広報広聴係(内線258)

☎ 広報おおだては再生紙を使用しています。